

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

Anniversary
2014
60th

真剣味

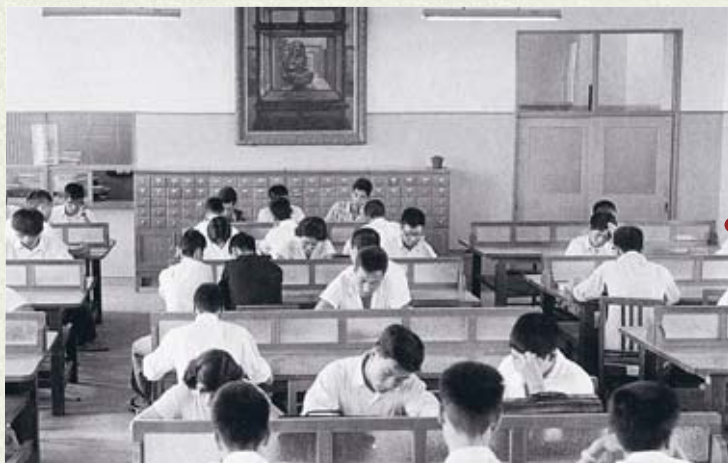


中京大学 | 広報177号

2013年11月13日発行

主な内容

- ② 新理事長に梅村清英氏
- ③ 開学60周年記念 第2回講演会／カレンダー作製
- ④-⑤ 国際英語学部が3専攻制に改組
- ⑥-⑦ 6研究所が研究交流会／研究最前線「明木茂夫 国際教養学部教授」
- ⑧ 企業と工学部の情報交換会
- ⑨ 中京人往来「切り絵師・俊寛さん」
- ⑩ 専門図書の選書ツアー／ビジネス・イノベーション研究科10周年記念
- ⑪ 陸上競技部の6大学対校選手権
- ⑫-⑬ 主要公務員に153人合格
- ⑭-⑮ 11学部之力「経済学部」
- ⑯-⑰ グローバル人材の育成
- ⑱-⑲ 社会との連携活発



中京に歴史あり 1963年 ◀◀

名古屋キャンパスの本部棟(本館)4階にあった図書館閲覧室。
この年、商学部と体育学部2学部への入学者が開学10年目で
初めて500名を数え、学生総数も1,500名を超えた。

発行 中京大学 広報部

〒466-8666名古屋市中区八事本町101-2
TEL.052-835-7111(代)

「自ら考え、行動する知識人」を育成

学校法人梅村学園 新理事長に梅村清英氏



学校法人梅村学園は10月1日の臨時理事会で、小川英次理事長の任期満了に伴う改選で、第4代理事長に梅村清英氏（梅村学園理事・評議員、中京大学経済学部教授）を選任した。梅村氏は44歳。就任は同日付で、任期は2017年9月30日までの4年。

小川氏は名誉理事長へ
小川氏は10月30日の定例理事会で名誉理事長の称号を授与され、「本当に名誉なこと」と謝辞を述べた。名誉理事長は、理事長として多大な功績があったと認められる者に理事会が授与と決定する。小川氏は理事にも再任された。

梅村理事長―決意と抱負―

発展の原動力は 絶えざる改革にあり

中京大学は来年、開学60周年を迎えます。母体となる梅村学園は今年、創立90周年です。その第4代理事長に就任し、責任の重さを痛感しています。

大学のこれまでの発展の原動力は絶えざる改革にあり、これからも走り続けます。次代の教育を見据えて新たに策定した中京大学長期計画「NEXT10」の推進に全力を尽くします。

「NEXT10」のキャッチコピーは「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」。創立者の梅村清光先生による建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を踏まえ、「自ら考え、行動する知識人を育成する」ことを教育目標としました。

中京大生は元気で明るいと評判です。学習、研究、就職など

新理事に

安村仁志副学長



中京大学副学長の安村仁志国際教養学部教授が、学校法人梅村学園理事に選出された。任期

は10月1日から4年。大阪外国語大学大学院（ロシア語学専攻）修了と同時に本学に赴任。教養部長、社会科学研究所長、図書館長など歴任し、2010年4月から副学長、学園評議員。宗教文化史や比較文学と専門領域は広い。中京大学FD委員会委員長として、学生、教職員協働の分かり易く質の高い授業、快適な教育環境づくりにも腐心している。

の成果は、社会から一定の評価を受けています。今後は自律学習に重点を置き、主体的な人材育成に取り組んでいきます。

Chukyo アイデンティティーの 確立を図る

初代理事長の梅村清明先生は四大綱「ルールを守る、ベストを尽くす、チームワークをつく

る、相手に敬意を持つ」を全人教育の柱として導き、第2代の梅村清弘先生が本学が総合大学となる道を切り開き、第3代の小川英次先生が変化のマネジメントを提唱、コンプライアンスの確立に努めました。私は第4代理事長として、歴代の理事長が築いた流れを止めることなく、Chukyoアイデンティティーの確立を図ります。

梅村理事長 略歴

梅村新理事長は1969年(昭和44年)4月生まれ。1987年、中京大学経済学部の第一期生として入学。卒業後、本学大学院経済学研究科修士課程、博士課程で学び、2005年に博士(経済学)の学位を取得した。1996年に中京大学経済学部講師、助教授を経て、2006年に教授となり、その後、経済学部長、大学院経済学研究科長をいずれも2年間務めた。

学部生4年、大学院生5年、教員18年目で、この間、梅村学園の評議員、理事を歴任するなど、本学および学園一筋の歩み。小川理事長の下で、中京大学長期計画「NEXT10」の策定委員会委員長として、とりまとめに尽力した。

専門分野は国際貿易論で、主な著作は「現代貿易理論の潮流」(共著)、「国際貿易の理論と開発政策」(中京大学経済学研究叢書)。中京大学同窓会名誉顧問。中部経済同友会幹事、愛知県経営者協会理事、財団法人愛知県私学退職基金財団評議員、愛知県警察官友の会理事などの公職にもある。

中京大学開学60周年(2014年)

第2回 記念講演会

室伏広治氏

「東京五輪は日本が変わるチャンス」



オリンピック陸上ハンマー投げ金メダリストの室伏広治氏(本学スポーツ科学部准教授)と、OBでオリンピック競泳銀メダリストの松田丈志氏、京都大学大学院教授の森谷敏夫氏を招いた開学60周年記念第2回講演会が10月9日、名古屋キャンパスで開かれ、約430人が聴講した。室伏氏が基調講演で「自己への挑戦、未知なる探求」をテーマ

マに、7年後に開催が決まった東京オリンピックについて、決定的な背景と影響を分析。「東京



五輪は日本が変わる大きなチャンス」として、国際化と女性の社会進出をあげた。また、競技の第一人者であり続ける難しさを述べ、「世界大会で勝てなかった9回。このノー・メダルの経験が次へのメダルにつながった」と説明した。第2部は、3氏による座談会が行われ、本学同窓会長の森谷氏がコーディネーター役で「わたしたち

と中京大学」と題して進められた。体操部に所属していた森谷氏は、体育館で「真剣味」の校訓を眺めながら深夜遅くまで練習していた経験が、その後のアメリカでの留学、京都大学での

研究生生活に役立っていると話した。オリンピックに3回出場した松田氏は、メダルが取れなかった時の悔しさと、個人的な練習方法を受け入れてくれた中京大学への感謝を述べた。

第3回は小宮山・元東大総長

次回講演会は来年5月28日、元東京大学総長、小宮山宏氏を講師に招いて開催される。



希望者にプレゼント

2014年版 記念カレンダー作製

中京大学開学60周年記念事業準備委員会は「2014年版卓上カレンダー」を作製した。来年迎える開学60周年を内外に広くPRするために作製したもので、キャンパスの最新の風景だけでなく、本学の歴史の折々の写真も取り入れた構成になっている。サイズはA5版(縦148mm、横210mm)。台紙には建学の精

神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」が謳われ、シンボルカラーの表紙には「しなやかに挑み続ける 新生・中京大学」のキャッチフレーズが躍っている。カレンダーは教職員に配布されたほか、在学生の保護者や同窓生ら希望者にもプレゼントされる。先着500名。希望者は200円切手を貼った返信用封筒(角3)に「216mm×277mm」を同封し、12月16日(消印有効)までに申し込む。

●申し込み・問い合わせは〒466-1866

名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学広報部 「カレンダー係」まで。

「文化会(クラブ・同好会) 課外活動の歩み展」

第3回自校史展「中京大学文化会(クラブ・同好会)課外活動の歩み展」が10月22日から29日まで、名古屋キャンパスのアートギャラリーC・スクエアで開かれた。

文化会に加盟するクラブ・同好会の31団体について、過去の実績や主な取り組みとともに、昔の写真と現在の写真をパネルにして紹介。一部のクラブからはトロフィーや賞状も出品された。



休廃部した17団体も取り上げられ、全国的に活躍した「珠算部」「弁論部」「詩舞道部」「郷土研究会」の4団体については、OBらの協力で、日本一に輝いたカップや賞状、研究成果をまとめた機関誌のバックナンバーが展示された。開催期間中の昼休みには、会場前のギャラリーで、「混声合唱団」や「ギターアンサンブル」などがライブ演奏。司会放送部の進行で自校史展の開催をPRした。

第3回自校史展

国際英語学部が3専攻制に

国際英語学部は来春、現在の国際英語学科と英米文化学科の2学科体制を、国際英語学科国際英語キャリア専攻、英語圏文化専攻、国際学専攻の1学科3専攻体制に改組し、よりきめ細かな人材育成に乗り出すことになった。



「リーディング」の授業もすべて英語で行うモリソン准教授

社会の多様化受け、きめ細かな教育

モノやサービスが国境を越えて行き交うグローバル社会が深化するに従って、企業が求める人材も多様化し、単に語学ができるというだけでなく、「翻訳力」「ビジネス交渉力」など、プラスアルファの能力が必要とされるようになってきた。同じ英語圏でも、イギリスとアメリカではアクセントや文法で微妙な違いがある。シンガポールでは、単語を繰り返したり主語が省略されたりする、シングリッシュと呼ばれる英語が使われる。様々な国で使用される多

様な英語形態「World Englishes」による会話や発表を英語教育の柱に据え、専攻ごとの研究対象や目標設定に柔軟性を持たせ、より効果的に学生たちの英語力を伸ばす。

国際英語キャリア専攻

◆「言葉のプロ」育てる

ビジネスの現場などで正しい英語が使いこなせるだけでなく、真に相手から信頼される国際的知識人になれるよう、言語の専門知識を基礎として、国際ビジネスマンや研究者なども育成する。

授業では、「日本の国際化」や「日本企業の海外進出」などをテーマにプレゼンテーションやディスカッションを行い、教員が基本的な心得から、細かなテクニックに至るまでアドバイスする。今やプロの実務翻訳者の

必須アイテムとなっている、翻訳支援ソフトの使用技術も磨き、キャリアの獲得とその後の展望を見据えている。

授業での学習成果を確認する場が、4年間で2度にわたり実施する海外研修・留学だ。まず、1年次の夏にシンガポールで行う「海外基礎研修」では、日系企業や現地企業を見学する。例えば、日系の旅行代理店の社員が、シンガポールから日本や東アジアの国々を旅行する際の観光地のニーズを調査する現場に立ち

会ったりして、ビジネスで使われる英語に触れる。

2〜4年次に行う2回目の研修は、オーストラリアのグリフィス大学での語学研修やアメリカで業界研究を行う海外業務体験などから、学生たちが選択。さらに高度な英語の運用に挑む。「真に使える英語」に説明責任まで果たすことができる。「英語のプロ」を育てます」と中川直志准教授は力を込める。

+言語学

国際英語キャリア専攻

通訳、翻訳、英語教育者など「言葉のプロ」を育成

World Englishes

地球上にある多数の英語形態をそのまま認めた会話や発表

+国際関係学

国際学専攻

国際ビジネスの現場における対話能力と交渉力を習得

+文化学

英語圏文化専攻

現代文化を題材に英語圏文化の多様性を理解

英語圏文化専攻 ◆ 文化通じて多様性理解

文学や映画、美術、音楽など英語圏の文化や歴史背景を理解できる人材を育成する。推理小説などの大衆向け文芸からシェイクスピアまで、幅広い科目群の中から授業を選択する。国際社会で通用するメールの表現方法や英語圏仕様のホームページ作成を通じて情報発信力も磨く。



鏡味さん(左)とホストファミリー

留学体制も整備されている。今年、イギリスのノリッジへ語学留学した2年生の鏡味玲菜さんは、イスラム系移民の家庭にホームステイした。「ちようどドラマダン(断食月)の最中で、イスラム教徒のご主人は食事をしませんでした。私は宗教に関する知識がなく、話題を広げるためには、宗教についての勉強も必要だと痛感しました」と語る。コ

ミュニケーションの手段として英語が使えれば、世界は広がることを体験してもらおう。英語の教員やツアーコンダクターなど、幅広い教養を必要とする職業を目指す学生にはうつつの同専攻。「英語を使いこなすことで、自分の世界も広がる。学生には美術品やアミューズメントパーク、街並みなど英語圏の文化をぞんぶんに体験し、日本の文化との違いについて、見識を深めてほしい」。岩田託子教授はエールを送っている。

国際学専攻 ◆ 世界で働く意識培う

世界のビジネスや政治経済などの国際関係について学ぶ。社会科学系の科目が増えるほか、英語での交渉力や対話能力を高めるための授業を一段と強化する。

必須科目ではないが、海外の企業や教育現場で職場体験する留学プログラム「海外業界研究」も用意する。留学先はアメリカ、ニュージーランド、シンガポール、インド、韓国などで、どの学年においても選択できる。

留学プログラムを利用して、一昨年のロサンゼルス留学に続いて昨年12月、インドで職場体



インド人の生徒に折り紙を教える学生

験をしてきた4年生の森田あずさんは、事前に約10の現地企業や学校と英語でメールのやりとりをして訪問のポイントを

の人と渡り合うことになる。就職先でも自分の意見をしっかりと述べられるように指導したい」。榎木蘭鉄也教授は意欲的だ。

取りつけた。インドの小中学生たちが日本語を学ぶ授業を見学した森田さんは、「少々、下手でも間違っていて、積極的に日本語で意見を主張する子どもたちに刺激を受けた」と言う。「社会に出たらハン

各専攻必修・推奨の留学プログラム

専攻	年次	留学名	留学先	期間	内容
国際英語キャリア	1	海外基礎研修	シンガポール	約3週間	異文化やビジネス環境の中で会話や企業見学などコミュニケーションの重要性を理解
	2	海外研修A	グリフィス大学(オーストラリア)	5週間	一般英語、ビジネス英語、英語による異文化理解 1年次の海外基礎研修を踏まえてより高度な英語運用力を習得
		海外研修B	カナダ、シドニー、ニューヨーク	2~5週間	
		海外研修C	グリフィス大学(オーストラリア)	3週間	
2~4	海外業務体験 I、II、III、IV	ロサンゼルス、ハワイ	3週間または6週間	企業、教育、観光業務の実体験 1年次の海外基礎研修を踏まえてより高度な英語運用力を習得	
英語圏文化	2	海外大学研修1	イギリス(イースト・アングリア大学、エクセター大学など)	3~4週間	英語圏の大学の語学研修機関で語学訓練を受けながら現地の生活・文化を体験 各国の留学生と交流して視野を広げ、学習意欲を高める
		海外大学研修2	北米(カナダ、アメリカの大学)		
	1~3	海外セミナーI	カナダなど	2~3週間	語学研修に加えて各種アクティビティー 現地企業や日本の出先機関を見学 就職に対する意識変化を促す
		海外セミナーII	ニューヨークなど		
国際学	1~4	海外業界研究	ニュージーランド、韓国、シンガポール、インド、アメリカなど	3週間(予定)	現地の様々な英語話者と交流。担当教員が参加者の希望や語学力、時勢に合わせて内容をカスタマイズ 企業や教育現場での実体験を通して実践的な語学を習得

※約1年、約半年の交換留学と約半年のセメスター留学も選択できる

第2回 情報共有し研究協力へ 研究会 活発に意見交換

本学の6つの研究所が専門分野を越えて情報を共有し研究に生かそうと、7月23日、名古屋キャンパスのアネックスホールで研究交流会が開かれた。同会は今年1月に始まり、今回で2回目。代表者による研究発表を、教員約40人が熱心に聞き入った。文化科学研究所の甘露純規・文学部准教授が「少年はなお夢に戦う(日清戦争ごっこ試論)」と題して、西南戦争時と日清戦争時における子どもたちの戦争ごっこを比較し、戦争遊戯が訓練に変質していく過程を紹介し、



テーマは「アーカイブズとは何ぞや」。

社会科学研究所の上代庸平・国際教養学部准教授の発表が、高める効果などを挙げ、総合大学として本学のアーカイブズの共有を働きかけた。研究所長によるパネルディスカッションも行われ、釜田公良経済学部附属経済研究所長は「学部内でも研究内容を共有するため、2カ月に1度、所員と研究員が研究を発表している。オープンなのでぜひ他学部の先生も参加して」と呼びかけた。北川薫学長は「11学部・11研究科・各研究所でお互いに協力していけるよう、今後も交流会を続けたい」と力強く話していた。

加納政芳工学部准教授が貢献賞 プログラム委員長で功績



加納准教授

工学部の加納政芳准教授が、9月13日、第29回ファジィシステムシンポジウムで「日本知能情報ファジィ学会貢献賞」を受賞した。同賞は、同学会が主催する学術講演会を通して、関連する学

問・技術の普及・発展においてに寄与した会員に贈られる。加納准教授はプログラム委員長として第28回ファジィシステムシンポジウムの運営に関わり、その功績が認められ表彰された。加納准教授は昨年10月、商品化に向けて企業と共同研究している「赤ちゃん人形型ロボットBabyloid」で同学会の奨励賞、Best Evening Poster Awardを受賞している。

長谷川純一工学部教授 電子情報通信学会フェロー



長谷川教授(左)と井上友二学会長

工学部の長谷川純一教授が、「医用画像認識と多次元画像エキスパートシステム」の先駆的研究」による貢献が多

であるとして、電子情報通信学会から9月18日、フェローの称号を贈呈された。長谷川教授の研究対象は、画像処理の医療応用分野、画像処

野と多方面にわたる。代表的な研究貢献は、医療応用では医用画像からの肺がん検出システムの開発、知識工学分野ではサンプル画像提示型の画像処理エキスパートシステムの開発、スポーツ応用では映像からの集団プレー分析システムの開発など。

佐藤祐司経営学部教授 国際学会で 最優秀論文賞



佐藤教授

から、学会に対して特に大きな貢献を果たした論文に贈られる。受賞対象論文は「両眼固視中の片眼におけるコントラスト感度の低下」。両眼の異なる網膜像を利用して不一致像を融合させ、単一視を可能とするためのメカニズムを心理物理実験によりに検討した。この研究は、本学特定研究助成を受けて行われたものである。本学非常勤講師の小澤良氏との共著で、心理学研究2013年第83号に掲載された。

佐藤祐司・経営学部教授の研究論文が、6月26〜28日にポルトガルで開催された、知識工学・意思決定論の国際学会において最優秀論文賞を受賞した。論文は、受注生産型製品の仕様最適化に関するもので、費用や便益に関する定量的な条件と、製品に対する発注者の選好に関する定性的な条件を考慮した意思決定支援モデルを提案。事例研究を通じてその有効性を実証した点が評価された。

鬢櫛一夫心理学部教授 日本心理学会の優秀論文賞



鬢櫛教授

心理学部の鬢櫛一夫教授が9月18日、日本心理学会第77回大会で日本心理学会優秀論文賞を受賞した。同賞は、日本心理学会機関紙に掲載された原著論文の中

研究最前線
7

漢字文化を軸に
幅広い分野から本質探る

明木 茂夫
国際教養学部教授

中国地名のカタカナ表記問題や日本漫画の外国語翻訳研究など、中国語・中国文化を起点とするさまざまな分野においてマスコミからも注目されている明木教授に話を聞いた。

——幅広く研究されていますが、先生の本来の専門は何ですか。

中国古典音楽理論、特に犯調と呼ばれる転調理論について調べています。西洋の五線譜と違って、音符も漢字を記号化したものを用いられており、中国学でも音楽学でも、研究者は決して多くはありません。その解釈には数式まで出てきてなかなか大変です。でも、パズルを解くみたいな面白さがあります。ついつい夢中になってしまいます。何年も解けなかった謎がぱつと分かったときの快感は何物にも代えがたいものがありますね。

——外国語（中国語）を教える教育者として、グローバル化の流れをどう感じていますか。

例えば私が最近注目している、社会科学教科書・地図帳の地名表記なども、その問題に関連しますね。実は「天津」は、中国語読みのカタカナで「テイエンチン」と書かれているんです。「テイエンチン



「Sun wen」と書いて、お日様の「Sun」みたいな感じで、「サンウェン」のように読みます。英語の中に孫文が出て来ても結局日本人は

甘栗」なんて変ですよ。近年は、テストもカタカナで出題され始めています。なぜ、いつ、誰がそんなこと決めたのか、国語審議会の昔の議事録をさかのぼるなどして調べています。グローバル化の時代だから現地の読み方にするのは当然だ、とおっしゃる方も多いのですが、本当にそうでしょうか。

——研究において一番大切なことを教えてください。

徹底して資料を調べること、書いてあることの表面だけを見ないこと。古典書籍からオタクっぽい資料まで、いろいろな角度から糸口を探します。調べている途中で

——学生たちにどのように伝えたいですか。

授業では「辞書に書いてありません」「辞書にありませんでした」というのは私の前では禁句だ、とよく言っています。辞書の切り貼りでは翻訳ひとつ満足にできません。大事なのは辞書の解釈を参考に咀嚼し、他の資料も調べて自分

●明木茂夫（あけぎ・しげお）
山口県出身。九州大学大学院文学研究科博士課程修了。文学修士。1998年中央大学教養部助教授、2003年教授。2008年から国際教養学部教授。2013年から文化科学研究所長。専門は中国古典楽理、中国文学・語学。科目担当は中国語、異文化研究、中国文学など。

若さを保つ51章

湯浅 景元
(スポーツ科学部教授)著

「若さを保つ」と「若返る」ことは違う。若さを保つのは、人間に備わった成長・老化という自然の流れを損なうことなく、健康を保つことである。しかし「若返る」のは自然の流れに逆行することで、決して好ましいとは考えられない。本書は、運動を中心に「若さを保つ」ための具体的な方法とその理論について紹介している。

中日新聞社。2013年6月21日刊。
125頁。税込1,365円

伝え合い高め合う城東の子

成就感を味わい、自己効力感を
高める活動の充実

【協同教育実践資料19】

杉江 修治

(国際教養学部教授)他監修

本書は、犬山市立城東小学校の、この4年間の実践の成果をまとめたものである。協同学習で提唱されている「単元見通し学習」を理論的基礎に置き、若手教師の成長支援も同時に図る研究体制の中で創り出された実践が紹介されている。

監修者は城東小学校に2001年度から助言を行ってきた。

一粒書房。2013年8月3日刊。
197頁。税込2,625円

ヴィクトリア朝の都市化と

放浪者たち

武井 暁子

(国際教養学部教授)他編著

柁 正行

(国際教養学部教授)他著

本書は、ヴィクトリア朝の人々の生に変容を迫った都市化という現象を包括的な視点で捉えている。学術書としてのみならず読み物としても、読者の視野拡大に寄与しうる好著。本書刊行にあたり、平成25年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(学術図書 課題番号255043)の助成を受けた。

音羽書房鶴見書店。2013年9月10日刊。292頁。税込3,150円

勉強と居場所

学校と家族の日韓比較

松田 茂樹

(現代社会学部教授)他編集

日韓の中高生に対する数度の調査から、両国の学校生活と家庭生活を分析。日本は、家庭の階層によって生徒の学習意欲・進学意欲に大きな格差が生じている。一方、韓国の生徒の学習意欲は総じて高く、階層による差は小さい。勉強、進学意欲、親子関係、友人関係など多角的な分析により、学習を支える学校と家庭の具体的要因を明らかにする。

勁草書房。2013年9月15日刊。
204頁。税込3,255円

工学部が企業招き情報交換会

「地元企業へ有能な学生を」

今春の工学部開設を記念して、企業の人事担当者や研究者との情報交換会が9月12日、名古屋キャンパスで行われた。工学部が主催し、116社142人が参加した。

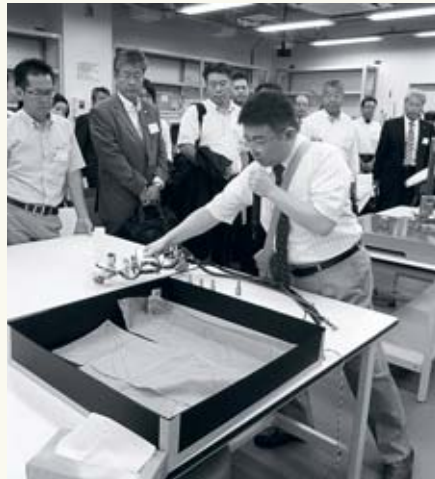
北川薫学長が「人間の筋肉を動かすのに神経が不可欠なように、工学には情報、ソフトが不可欠。本学は筋肉に相当する『機械システム工学』と『電気電子工学』を名古屋キャンパスに、神経に相当する『情報工学』と『メディア工学』を豊田キャンパスに配置し、時代を先取りしている」とあいさつ。

井口弘和工学部長も「ものづくりの中心地である愛知県に、有能な学生を送り込むのが本学の使命だ」とし、①基礎力を付ける教育②コンピュータを操作するだけでなくコミュニケーション能力をつける「対面による体験学習」③行動できる就職支援体制——の3点が、本学工学部の大きな特徴だと説明した。

雷や放電絶縁破壊の研究に使われる高電圧実験装置や複雑な立体形状を簡単に再現可能な3Dプリンタなど、ものづくりを支える最新設備見学の

ほか、被災者救助にあたるレスキューロボットなど、4学科の

参加者の1人、KDDI研究所の野本真一取締役(戦略部門担当)は「中京大



機械加工室の設備を紹介する森島教授

教員による研究紹介があった。学生も企業の担当者も活発に情報交換した。

学が実験を重視し、社会で実際に貢献できる人材育成に力を入れていると肌で感じて、将来を見据えて、学生と教員が柔軟性のある研究を続けてほしい」と話していた。

保護者向け「就職セミナー」

本学のネットワーク生かして活躍を

3年生の保護者に向けた「就職セミナー」が9月28日に名古屋キャンパスで行われ、324人が参加した。開催の

要望を受けた教育後援会とキャリアセンターが共催し、今年で3回目。交通を考慮して愛知・岐阜・三重県在住の保護者が対象。

北川薫学長は本学が60周年を迎えることに触れ、「本学は11万人中8万人の卒業生と連絡



多くの保護者が参加したセミナー会場

が取れる大学です。ぜひ、皆さんのお子さんにもこの大学のネットワークの中で、より活躍してほしい」とあいさつした。

本学文学部の卒業生で伊勢湾海運の小原達夫・人事課長が「企業が求める人材」について講演し、後輩に向けて履歴書の写真や控室での振る舞いをアドバイス。田口昇・キャリアセンター課長も、少数数制対策講座や学内の就職イベントなどの支援体制を説明して理解と協力を呼びかけた。

個別相談コーナーも設けられ、民間企業や公務員・教員など志望の進路別に分かれ、担当職員が業界別の実績や公務員と民間企業へのアプローチ方法など、個々の状況に応じて説明を行った。

中京大学交通安全連絡協議会

地域住民と学生に安全講話会

交通事故の撲滅に取り組んでいる中京大学交通安全連絡協議会が10月18日、地域住民と在学生を対象に「交通安全講話会」を名古屋キャンパスで開催した。同協議会は、文化会や大学祭実行委員会の学生たちと学生支援室の職員で構成され、講話会には近隣の町内会や商店街など地域住民ら37人と、在学生73人の計110人が参加した。



交通事故の現状を説明する笠井交通課長

名古屋市・昭和警察署の笠井拓交通課長が「地域の交通安全について」のテーマで、交通事故件数の推移や事故現場の状況を説明し、身近に潜む事故の危険性を伝えた。夕暮れの運転時は早目に点灯すること、夜間の歩行時には反射ステッカーなどで身を守ることを勧めた。また、今年の交通安全スローガン内閣総理大臣賞「スマホに車や自転車事故のもと」を紹介し、スマホの使用による注意散漫が事故につながると訴えた。

最後に大学祭実行委員会を代表し、松浦友也さんが安全で快適な学生生活を送るための交通安全宣言をし、加害者、被害者にならないことを誓った。



編集記

「与えられたことをキチッとこなすだけの優等生では…。独創性が大事」。10月9日に開かれた開学60周年記念講演会。同窓会長でもある森谷敏夫・京都大学大学院教授(スポーツ医学)は、型にはめない中京大学の学風が自らの独創的研究の基を築いた、と胸を張りました◆室伏広治・スポーツ科学部准教授は、英語や仏語を駆使して東京五輪招致成功の一因となったプレゼン力を例に、「中京大学も国際舞台で活躍する人材を送り出す時。単に語学だけではなく、高度なコミュニケーション能力が必要」と力を込めました◆水泳の松田丈志選手は「アテネ五輪でメダルを逃し、空港でファンや報道陣に囲まれるメダリストとの差を痛感。その悔しさをバネに北京・ロンドン五輪ではメダルを獲得出来た」と根性をのぞかせました◆「独創性」「コミュニケーション力」「不屈の精神」。三者三様に示された中京大生のあるべき姿。10月1日、梅村清英・第4代梅村学園理事長の下、新たな一步を踏み出した本学ですが、3人のメッセージに励まされたのは私一人ではないでしょう。(か)

中京
往人

人と関わり、何を伝えるか



靴や帽子、仮面、バイオリンなど伝統技法を用いて、一つ一つ丁寧に仕上げているイタリアの職人たち。印刷会社を辞め、自分探しの旅にイタリアを訪れた俊寛さんは、技術と精神を受け継ぐ彼らのこだわりを魅せられた。同時

に機械化により職人が減っていく現状に寂しさを覚え、切り絵を通して職人の素晴らしさを残すことを決意した。イタリアで7年間、切り絵の制作活動をした後、帰国。現在は豊田市の自宅で制作に没頭している。「芸術家ではなく、職人と呼ばれる」と話す俊寛さんは、対話でイメージを深め、細部まで丁寧な職人的なアプローチにこだわる。「作品を見た人、触れた人を幸せに。見た空間を思い出し」を目標としている。

●本名「菅俊一郎」。愛知県刈谷市出身。1993年経済学部卒。2005年イタリア・フィレンツェの「コルシーニ公爵夫人主催「第11回職人展」」グランプリ、2012年豊田市文化財団奨励賞を受賞。時の経験が今につながった。2010年11月、中京大学内のアートギャラリーC・スクエアで『イタリアの職人、日本の職人』展を開催。18年ぶりに母校のキャンパスを訪れ、「理想的なかたちで大学に帰って来ることができた」と感激したという。後輩たちに「夢に向うとき、形や数字など目に見えるものより、人とどう関わるか、人に何を伝えたいかという志を大切に」とメッセージを送っている。

俊寛さん
しゅん かん
切り絵師

第29回 全国同窓会を開催
東京で約100人が交流



挨拶をする森谷同窓会長

第29回中京大学全国同窓会が9月28日、国体の開催地である東京都内のホテルで開催され、各地から集まった同窓生ら約100人が親睦を深めた。最初に同窓会長の森谷敏夫・京都大学大学院教授が「母校の発展に貢献したい」と決意表明。加藤隆司・同窓会東京都支部長が「東京オリンピック開催を機に東京都支部が卒業生の受け皿となるよう、横のネットワークを広げて行きたい」と歓迎の挨拶をした。続いて、梅村清英理事(現・理事長)が「長期計画『NEXT 10』の実現に全力を挙げて取

り組んでいきたい」と述べ、北川薫学長も「今の中京大学は、教員に教える力を身に付けてほしいとFD活動に特化して頑張っている」と教育力の充実をアピール。

この後、安村仁志副学長が「来年の開学60周年に向けて、大学史編纂室で記念誌を全力で作成中。みなさんどうかご支援を」と語り、全員で乾杯。テーブルを囲み笑顔でお互いの近況報告や学生時代のお互いの近況報告や学生時代の思い出に花を咲かせた。最後に次期開催地・長崎県での再会を約束し合って閉会した。

訃報

名誉教授
(元商学部教授)
網島 誠忠さん
つなしまよしただ
8月19日逝去されました。
75歳。67〜08在職。管理会計論。



専門図書の選書ツアー

学生目線の図書充実へ

「卒業論文やゼミ研究などに必要な専門書を学生たちが書店で手に取って、選んでほしい」と、本学図書館が3、4年生対象の「第1回専門図書選書ツアー」を10月9、11日に実施し、9学部16人の学生が参加した。

選書ツアーは、様々な専門書を多数取り揃えている名古屋市の栄の丸善書店を会場に約2時間行われた。学生たちは何冊も見比べ、今取り組んでいる論文作成等に有効な資料かを確認しながら、合計415冊、一人当た

り26冊の専門図書を選んだ。選書後、お互いの選んだ本に関心を寄せるなど、学生同士で自然に意見交換も始まり、和やかな雰囲気ですべての選書ツアーは終わった。

学生からは「高価な専門書が数多く必要となっていたので助かった」「インターネットのキーワード

検索では引つかからなかった書物を見つけられた」などの感想が述べられた。

図書館に所蔵する学生用の本は、学生が希望を出す「希望図



書制度」もあるが、図書館職員と教員が選んでいる図書が多い。図書館職員は「学生の目線で選ばれた図書を充実させていきたい」と話している。

ビジネス・イノベーション研究科

開設10周年記念講演会



討論する宮川研究科長(左)、浅田社長(中央)、潮准教授

大学院ビジネス・イノベーション研究科「開設10周年記念講演会」が10月20日に行われ、修了生や一般の方、教職員ら80余人が参加した。

同研究科は、社会人を対象に高度専門職業人の養成を目的に2003年に開設。これまでに172人が、ケーススタディによる課題解決への導き方や、実効性の高い理論を学んだ。

初めに、KCCスマネジメントコンサルティング㈱の浅田英治社長が基調講演で、京セラグループが実践したアメーバ経営

(小集団部門が採算制度に基づいて全員参加型で行う経営)の活用法を紹介。宮川正裕研究科長が「モチベーションとイノベーション」と題し、企業が高い競争力を持つためには組織やプロセスの変革が必要で、その際に、社員モチベーションを高めるマネジメントが重要な意味を持つと説明した。

浅田社長、宮川研究科長、潮准教授によるパネルディスカッションも行われ、「日本の経営の再生とイノベーション」をテーマに、白熱した議論が繰り広げられた。

図書館の貴重書 8



源氏物語

(貴125)

里村紹巴の講釈本

『源氏物語』の文章や語句の意味などを説明する講釈の本。最終本文の次のページに、室町時代末期の連歌師、里村紹巴の天正十四年(一五八六)の講釈本であることが記されている。表

紙は、江戸時代前期に出版された別の書物のものを流用して、後から補ったと思われる美麗な丹色。『源氏物語』五十四帖の内第十七帖「絵合」、第二十七帖「篝火」の二帖を合わせて一冊にしたもの。江戸時代初期以前の書写であろう。

「絵合」の本文には、「百ふ」
「紫ひとりみて」のように記されている箇所がある。「百ふ」には濁点を付して濁って読むことを示し、「ひとりみて」の和歌には「紫」と付記して紫の上が詠んだ和歌であることを説明している。本学は「絵合」「篝火」の二帖のみを所蔵するが、本書は、紹巴が当時『源氏物語』講釈をしていたことを伝える貴重なものである。連歌師が『源氏物語』流布に大きな役割を果たしていたことが知られる。鶴見大学図書館には、紹巴の講釈本であることを記す『源氏物語』の五十四帖揃い本がある。比較研究の必要がある。

(国際教養学部非常勤講師
藤井日出子)



第26回 六大学対校 陸上選手権大会



強豪6大学が五輪19種目競う

陸上競技の強豪校、中京大学、順天堂大学、日本大学、筑波大学、東海大学、日本体育大学が主催する六大学対校陸上選手権大会が7月21日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開かれた。オリンピック19種目に各校の代表3人が出場。順位に応じて加点され、総合点数を競った。

同大会は今年で26回目。「日本もアメリ

カのように実力接近の対校戦を実現すれば、お互いに刺激となってレベルが向上する」と、1988年に体育の指導者を多く輩出した、インカレの優勝争いをしてきた5校（1993年から日体大含む6校）が集まって始まった。

実力の拮抗で精神も強める

中京大学の選手にとっては9月のインターカレッジ(全日本学生選手権)を除いて唯一、関東の陸上競技の名門校と顔を合わせることでできる大会。さらに、個人競技が多いなか、プレッシャーのかかる団体戦で実力を発揮する経験になる。大会発足当時の故・安田矩明陸上競技部長も「東海地区の大会では本学が常勝し

ているが、実力の拮抗した関東勢の闘志を見て、対抗意識を燃やすことで精神も磨いて」と指導していたという。

当時の監督、勝亦紘一名誉教授は「卒業後も体育系大学出身の選手同士がつながりを持って陸上競技を強化・普及していつてもらいたい」と話す。本学は2016年に大会の幹事校となる。今年の砲丸投げ1位の山元隼選手(体育学部4年)は「後輩たちには総合優勝を勝ち取ってほしい」と夢を託していた。



【第26回大会 主な成績】800m1位 北島寛也(スポーツ科学部3年)▼棒高跳び1位 松澤ジアン成治(体育学部4年)、2位 榎将太(スポーツ科学部2年)▼砲丸投げ1位 山元隼(体育学部4年)



- ①「地域に生きること」
テーマに公開討論会
- ②家族連れも多く、
子ども向けのゲームも人気
- ③クイズで盛り上がる
シンボルステージ
- ④同窓生や地域住民らで
にぎわう会場



- ①ゼミで企画した
リップスティックを販売する学生
- ②会場を熱気に包む
メインステージのダンスや演奏
- ③華麗な舞を披露する
チャリーディング部
- ④「八事商店街の活性化」
テーマにビジネスコンテスト

中京大学祭

名古屋：第60回、豊田：第20回
節目の開催

中京大学祭は11月1-3日に行われ、名古屋キャンパスが第60回、豊田キャンパスが第20回の節目の開催となった。

名古屋実行委員長の山後直将さん(文学部3年)、豊田実行委員長の中村亮太さん(情報理工学部3年)は「お越しいただきました全員の思い出になれば幸いです。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました」と感謝を述べた。



豊田キャンパス
テーマ『繋』繋げる思い広がる絆

名古屋キャンパス
テーマ『昇』

自分の強み探し、面接へ

経済学部 竹内 幹



合格

国家総合職、国家一般職、
 国税専門官、地方上級(長野県)

進路先

長野県庁

公務員試験は科目が多く、いかに短い時間の中で効率よく勉強するかが合格の鍵になると思います。

私は得意科目の正解率をより高めるため、基本問題以外にも応用問題も解いて自信をつけ、苦手科目は必修な分野を反復して勉強し、試験では必ずとるという合格基準点を決めました。苦手な科目だとしても、全くできない科目を作らなかったことで、本番の試験でも安定した点数をとることができました。

しかし近年の公務員試験は勉強が全てでなく、面接試験の比重が増加しており合格するためにはおろそかにすることはできません。私が受けた長野県の地方上級試験では、面接の比重が8割近いので、人一倍努力しました。アルバイト、ボランティア、サークル活動など様々な経験を積み、面接のネタを作っておくとよいです。私の場合、サークルではサークル長を、アルバイトではバイトリーダーをしていたので、その経験を面接において自分のアピールポイントとして話すことができました。小さいことでも、複数の経験に共通する自分の強みを探すことができれば、面接でも自信を持って話せます。

私はなぜ公務員を目指すのか、なぜこの職種に就きたいのかを早い段階から考え、悩みました。そこから明確な目標を設定し、合格後のイメージを強く持っていたことで、公務員受験という長丁場を乗り切ることができました。

モチベーション維持が重要

総合政策学部 田中 淳司



合格

国税専門官、国家一般職、
 地方上級(名古屋市、東京都特別区)

進路先

名古屋市役所

自らの経験や友人等の悩みを聞くなかで、市民の生活環境の発展に直接寄与することのできる公務員の仕事に魅力を感じました。特に子育て支援に携わりたいと思い、市役所を第一希望としました。

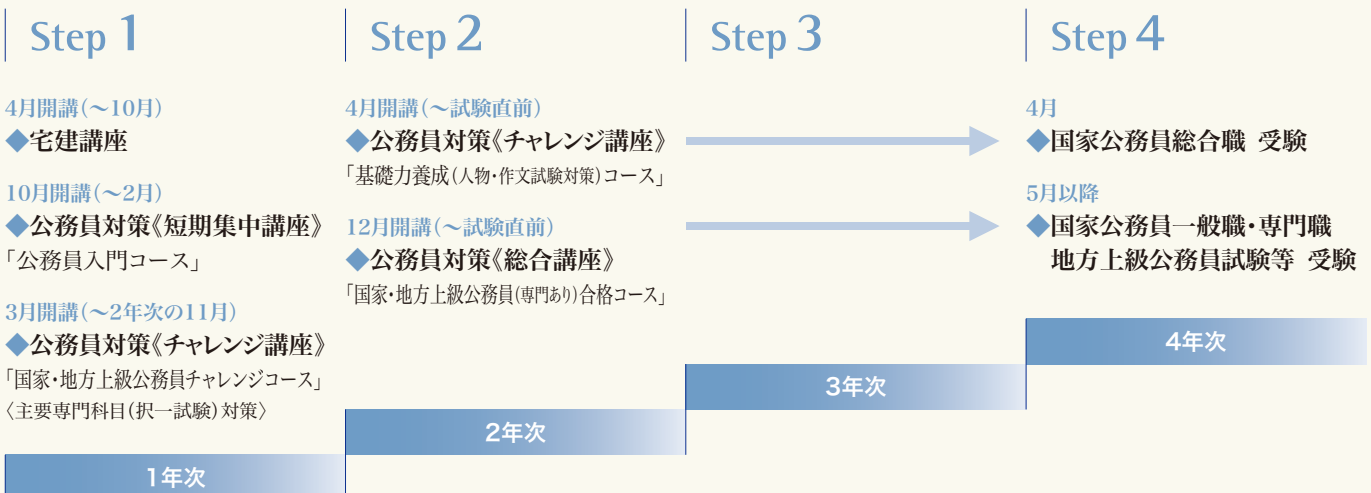
公務員を目指す上で重要となってくるのがモチベーションの維持です。一年以上という長い期間をかけて採用試験に臨まなければなりません。

本学の講座ではモチベーション維持につながるイベントが多くあります。現役合格した4年生による進路相談会では、勉強の悩み、生活面、具体的な試験対策を教えてくださいました。国家総合職の現役職員による説明会はやる気の向上だけでなく、新たな志望先を考えていく上で役立ちました。

なによりも重要なのが公務員をともに目指す友人がいたことです。模試の結果を競いあったり、目標とする業種や苦手な科目の勉強法について語り合ったりする存在がいたからこそ、最後までモチベーションを維持して勉強に臨むことができました。公務員講座を通じて親しくなった仲ですが、同じ苦難を乗り越えてきた分、特別な関係といえます。

これから公務員を目指す方は多くの不安を抱えていると思います。そんな時は一人で抱え込まず、誰かに相談することで、今やるべきことを見失わないようにしてください。

主要公務員試験合格へのモデルコース(2013年度)



2013年度 主要公務員試験

現役合格153人

最難関の国家総合職5人 (8年連続で合格者を輩出)

■主要公務員試験の合格実績

	2011年	2012年	2013年
国家総合職	2	8	5
国家一般職	29	15	34
国税専門官	45	34	40
裁判所一般職	10	8	7
地方上級	59	64	63
(内訳)	愛知県 23 名古屋市 6 静岡県 3 その他 27	愛知県 26 名古屋市 8 静岡県 3 岐阜県 3 その他 24	愛知県 28 名古屋市 9 静岡県 5 岐阜県 4 その他 17
財務専門官	—	—	3
労働基準監督官	—	—	1
法務省専門職	—	1	0
合計	145	130	153

※2013年の実績は10月31日時点、資格センター判明分。

●一般職には34人が合格

公務員試験の最難関、国家総合職(旧国家公務員I種)には5人が合格した。内訳は、法学部4人(いずれも法律区分)、経済学部1人(経済区分)。8年連続の合格者輩出は、中部地区の私立大学では本学のみである。

国家一般職(旧国家公務員II種)の合格者は34人。政府が合格者を大幅に絞込んだ昨年を除き、最近6年間、30人前後と安定した成果を残している。

全国の倍率は、総合職が14.8倍(申込18,949人、合格1,282人)、一般職が6.0倍(申込35,840人、合格6,017人)。

●地方上級職に63人

(県庁、政令指定都市の市役所など)

地方上級試験の合格者は63人で、3年連続で高水準を維持している。内訳は、愛知県28人が最多で、名古屋市9人、静岡県5人、岐阜県4人などとなっている。

同試験は、県庁や政令指定都市の市役所、東京都特別区などの採用試験。地元に着し、安心安全で、豊かな市民生活を支える職に就きたいと、希望者は年々増えている。

2013年度主要公務員採用試験(国家総合職・一般職、国税専門官、裁判所一般職、地方上級職など)の結果発表が行われ、本学の現役合格者数は過去最多の153人(10月31日時点、資格センター判明分。詳細は左表参照)となった。

一方で、試験科目が多く、勉強期間が長丁場になるため、モチベーションを維持することが難しい公務員試験。仲間と切磋琢磨し、合格をつかみ取った学生3人に、後輩たちへのアドバイスを綴ってもらった。

現職の仕事への熱意に圧倒

法学部 山田 咲子

合格

地方上級(名古屋市)、
国税専門官

進路先

名古屋国税局



国税専門官とは、国税局や税務署において税のスペシャリストとして働く人たちのことです。中には、税金の徴収といった仕事もあり、総じて人から感謝される仕事であるとは言えません。また、国税専門官には転勤も多く、女性にとってはストイックな仕事であるともいえます。そのため、私はよく「なぜ女性である山田さんが国税専門官を第一志望先としていたのか」と疑問を持たれます。

理由は単純なものでした。それは私が、現職の方々の仕事に対する熱意に圧倒されたからです。職務説明会で、大きな事案を解決した時の体験談や解決に至るまでの捜査方法などを聞いた時、純粋にわくわくしました。職務説明会自体は、国税専門官以外にも多数行きましたが、将来働く自分の姿を想像できたのが国税専門官だけでした。想像するのと同時に、将来に対する期待も膨らみました。現在もその気持ちは変わっていません。むしろ、期待は高まるばかりです。

そんな現在の私に、人生の先輩である両親からの一言「現実の仕事はそんなに甘くはない」。両親は、社会人へのスタートラインに立ち始めた私に、現実と期待のギャップによる後悔をしないような心構えをしてほしいのだと思います。

だからこそ、先を見据え、国税専門官を目指した時の気持ちを忘れずに仕事に挑み続けたいと思います。

学部長
インタビュー

学生の意識改革、主体性に期待

橋 建也 経済学部長 【専攻 西洋経済史】

「専門科目で経済の仕組みを段階的に正しく理解し、ジェネリック・スキル科目で身に付けた自主性やコミュニケーション能力で専門知識を生かせるよう、相乗効果を狙っている。専門科目とジェネリック・スキル科目をどのように修得したら良いか3つの履修モデルを例示しているほか、履修相談会も実施し、学生のケアを行っている」

「毎年、経済の旬な話題をテーマにして行われる経済学部の学術講演会を11月5日に開いた。今年は中京大でも教えていた一橋大の山内弘隆教授が電気事業を中心とする日本のエネルギー問題について講演。これまでは3年次演習の時間を使って実施していたが、より多くの学生に聞いてもらうことができるよう、初めて授業の一環で行った。2年生以上の学生に呼びかけたところ、多くの学生が関心を持って参加してくれた」

「経済学は社会科学の中では、制度化や体系化が進んでいるため世界標準となっている学問。国際化が進み、各国の経済が相互に密接に依存しあう中でグローバルな意識を持ち、世界を見据えて活躍できるよう、学生に期待している」



2 学生の自主性磨くゼミ

山田光男教授のゼミでは「計量経済学」を扱う。3年生は20人。3つのグループに分かれ、自分たちが設定した課題について、コンピュータを使い実証分析をしている。

「愛知県のフードツーリズム」をテーマに研究してきたグループは、愛知県の産業の柱を、自動車産業などの製造業だけでなく、景気の影響を受けにくい国内観光との二本立てにするこ



も選抜制。1年次の取得単位数やGPA (Grade Point Average)の略で、履修科目の成績の平均値を使う成績評価方法を基に、論理的思考を養う「ロジカル・シンキング」の授業(最大200人)、戦略思考とコンセプト思考を育てる授業(同100人)、プレゼンテーションとコミュニケーション力の向上を図る授業(同50人)と段階的に選抜する。

とが大切だとし、政策提言をまとめている。

「農業や工業など様々な分野の観光に関する論文を読み、観光消費の中で食が占める割合などを分析して波及効果を確認しました。情報収集力や時間の管理方法に加え、これまで知らなかった分析手法もマスターできた」とリーダーの上田光輪子さん。

11月23日、24日には、関西の大学が中心となって同志社大学で開かれる「WEST論文研究発表会」に参加するため、現在、発表の最終準備に追われている。山田教授は「自主性が育つ環境作りに気を配ってきた。他大学の学生が発表する様子を見て、自分たちに足りないところに気づき、さらに成長してくれれば」と応援している。

3 教育力を支える研究

経済学部には附属の研究機関「経済研究所」がある。毎月、教員が論文を発表し合う「八事セミナー」では、本学の学生や他大学の院生にも論文発表の機会が与えられる。「意欲の高い学生に対しては、大学院レベルの研究や、研究者レベルの論文が書けるよう指導しています」と釜田公良研究所長は話している。

学部 DATA

開設 1987年4月

学生数(2013年5月1日現在)

1年=368人、2年=329人、3年=331人、4年=388人

合計=1,416人 男:女=77%(1,094人):23%(322人)

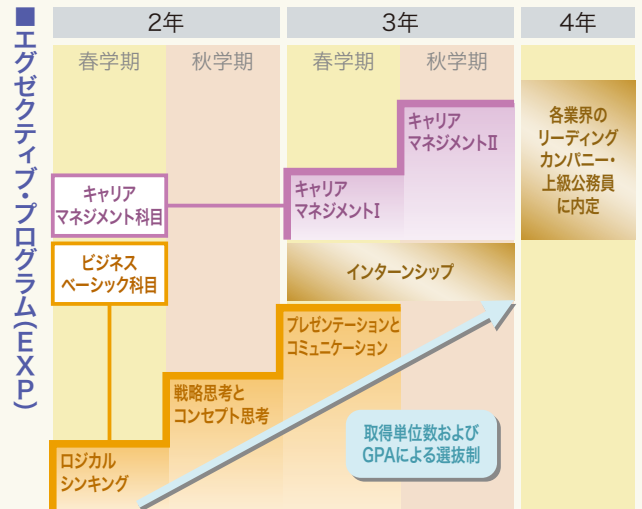
卒業生数 8,279人

教員数 専任20人 ※内訳:教授11人、准教授9人

情報社会への適応力と国際感覚養う

長期デフレからの脱却や消費税増税、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉・・・日本経済には解決すべき課題が山積している。こうした中、中京大学経済学部ではミクロ・マクロ経済学を基に、現実経済に鋭く切り込む専門性と国際性を兼ね備えた人材を育成しようと、「エグゼクティブ・プログラム(EXP)」と呼ばれる選抜制実践教育プログラムを導入。創造性や柔軟性に富んだ思考、チームワークなど、あらゆる職業に対応できる汎用的な能力(ジェネリック・スキル)の修得を目指す授業やゼミにも力を入れている。学生たちの潜在能力を最大限に引き出す取り組みの一端を紹介しよう。

(企画『11学部の力』は、今回で終了)



ぐはずだった給与の総額のことを指す。

「どんな場面で使うのでしょうか?」。用紙に書かれた学生たちの質問に、鈴木教授が答える。

「この死亡した男性のケースでは、事故の加害者(保険会社)が支払う保険額の算定基準に使われます。実際には機会費用に、家族の苦痛(慰謝料)を踏まえて、保険額が支払われます」。

講義の最後には毎回、小テストも行われる。

鈴木教授は講義内容を黒板にびっしりと書き込んでいく。次々と消しては書かれる黒板の文字を見ながら、学生たちは懸命にペンを走らせる。

「パワーポイントだと学生が観客になってしまう。自分で考えて内容を咀嚼しながらノートを作ってほしいので板書しています」と鈴木教授。

2年生の村山博紀さんは「自分で工夫して書いたノートを見ながら小テストに臨むので、納得のいく解答ができる」と、細かく書き込みを続けていた。

1 将来像に応じた3つの学問系統

経済学部では複雑化する経済学を読み解くために、基礎科目の充実を図り、経済の仕組みを正確に理解したうえで、段階的に専門性を高めるカリキュラムを構築。専門科目を「経済分析」「政策」「国際経済」の3系統に分け、学生が目指す進路に応じて科目を選択できる仕組みを整備している。

「経済分析」系統の科目の1つに、鈴木崇児教授が教える「都市経済学」がある。10月8日、3回目の講義をのぞいてみた。受講生は2年生～4年生の285人。

この日の学習テーマの一つは、「機会費用」。例えば、一家の大黒柱である男性が交通事故で亡くなった時に、その男性が稼

EXP(エグゼクティブ・プログラム)

リーディングカンパニーの幹部や上級公務員に必要とされる実践的スキルを修得する教育プログラム。2年次～3年次にかけて、戦略的な思考やプレゼンテーションの手法など仕事の遂行能力の基礎を身に付ける「ビジネス・ベーシック科目」と、インターンシップ(就業体験)を利用しながら自己分析や企業研究の手法を学ぶ「キャリア・マネジメント科目」を受講する。いずれ

留学／海外研修プログラム 2013年度は625人(見込み)が参加

留学、海外研修プログラムには、目的に応じて参加できる全学部の学生対象と、必修や選択科目としてカリキュラムに組み込まれている各学部対象がある。2013年度に海外に留学または海外研修に参加した学生は、全学部対象122人、学部主催503人で合計625人(見込み)に上っている。4年間の大学生活の中で、5人に1人が1度は海外で学んでいる計算になる。全学生に占める割合は約5%。

海外研修・留学者数

留学プログラム	2011年度	2012年度	2013年度
全学部／交換留学	18	22	36
全学部／セメスター留学	34	23	27
全学部／海外短期研修 ※大学体験、ビジネス研修	71	67	(59)
国際教養学部／海外課題研究	90	74	76
国際英語学部／海外業界研究、セメスターほか	191	190	267
心理学部／海外実習	17	20	(20)
総合政策学部／インターンシップ	7	3	(5)
経営学部／海外ビジネス研修	73	51	65
スポーツ科学部／事例研究 ※トレーナー、スポーツマネジメント	80	71	(70)
合計	581	521	(625)

※2013年度のカッコ内は見込み

プログラム事例 1

海外ビジネス研修(経営学部)

テーマごとの調査「リサーチワーク」など



環境センターで説明を受ける学生たち

経営学部の選択科目「海外ビジネス研修」は、自らの力で世界の壁を越えて活躍するグローバル人材の育成をスローガンに、2010年に開講。今年度は1年生を中心に65人が履修し、8月26日～9月9日、オーストラリア・南クイーンズランド大学で研修を受けた。

総合的なコミュニケーション力を強化する『英語研修』、国際問題や現地の課題など、日豪間の比較を調査・研究する『リサーチワーク』、現地の学校を訪問し文化交流をする『アクティビティー』など、多彩なプログラムが用意されている。今年度のリサーチワークのテーマは「原住民アボリジニーの伝統・文化・風習」「100カ国以上からの移民文化など」「環境問題」の3つ。

梅田守彦学部長は「海外ビジネス研修を通して、学生たちには目的意識を持って学ぶことの重要性を考えてほしい。また、異文化に触れることで、責任のある行動がとれる人間になってほしい」と話す。

プログラム事例 2

交換留学制度(1年間)

本学から36人派遣、受け入れは41人

2013年度に本学から海外の大学に派遣した学生は36人で、国別の内訳は、アメリカ25人、フィンランドと韓国に各3人、フランス2人、オーストラリア、オーストリア、ドイツに各1人。

一方、本学が海外の大学から受け入れた交換留学生は、春学期17人、秋学期24人の計41人。学習、生活面では学生チューターのサポートを受けている。

本学の交換留学制度は、直接、個別協定を締結している20大学への留学プログラムと、アメリカを中心に300大学が加盟する国際学生交換プログラム(ISEP)の2種類がある。

プログラム事例 3

TOEFL、TOEIC対策講座

留学・就職に向け語学力アップ

交換留学に必要なTOEFL、就職等で英語力の尺度として使われることの多いTOEICのスコアアップをめざし、それぞれ対策講座を開講し、学生の実践的語学力のアップをサポートしている。

TOEFL対策は、基礎と勉強法を学ぶ入門講座を春学期(5～7月)に、スコアアップの秘訣を学び効果的に目標スコアに到達できる集中講座を夏期休暇中に実施している。

TOEIC対策講座は、出題傾向を学び、演習問題を繰り返すことに重点を置き、効率よくスコアアップを目指している。春学期と秋学期の2回開講。

グローバル人材の育成

学部カリキュラムと 全学プログラムで 効率よく学習

「グローバルステップ」

コミュニケーション能力、
異文化理解力、積極性など培う

1年次から3年次にグローバル人材育成に向け効果的な学習ができるように、ケース別モデル「グローバルステップ」(G-STEP)を作成し、学生たちの指導にあたっている。学部カリキュラムと全学プログラムの留学・海外研修のほか、英会話講座、TOEFL・TOEIC対策講座、外国人留学生との交流イベントなどを、学生の目的に合わせて、①語学の基礎的な学習、②語学力のステップアップ、③留学、の3段階に分け、語学力、コミュニケーション能力、異文化理解力、自発性、積極性を培っていく。



中京大学グローバルステップのプログラム

STEP 1 ①英語の基礎を学ぶ ②英語を体験する
③英語の必要性に気付く

プログラム	対象
毎日学べる英会話	全学部
海外短期研修	全学部
各学部の海外研修(短期)	国際英語、心理、経営、スポーツ科学部など
レッツ国際交流	全学部

STEP 2 留学・就職活動のため、英語力を磨く

プログラム	対象
TOEFL 対策講座(春semester)	全学部
TOEFL 対策講座(夏期集中)	全学部
TOEIC 対策講座(春および秋semester)	全学部

TEST 英語力を試す

プログラム	対象
TOEFL 学内テスト(ITP)	全学部
TOEIC 団体テスト	全学部

STEP 3 ①留学で実際にビジネスで使えるレベルまで語学力をアップする
②留学で自発性、積極性など社会人基礎力を鍛える

プログラム	対象
交換留学	全学部
semester留学	全学部
semester留学(英米文化現地研究)	国際英語学部
海外課題研究	国際教養学部

産学連携の
商品開発

《坂田 隆文ゼミ》

サンドウィッチ
「ランチパック」

学生が記者会見で商品PR

中京、南山、名城、愛知、愛知学院の5大学の学生が、山崎製パン(株)の産学連携による商品開発に協力し、9月27日、名古屋市内のホテルで、発売が決まった5点のサンドウィッチ「ランチパック」をPRする記者会見に臨んだ。



テレビ局、新聞社など報道関係者を前に、緊張した面持ちの学生たちは、大学別に提案したランチパックの具材やパッケージへのこだわりを紹介した。

本学からは総合政策学部の坂田隆文ゼミが「4種のベリー入りクリームと4種のフルーツ入りクリーム」を提案。ゼミ生18人がそれぞれ200個のアイデアを出し、中京大らしさ、山崎製パンの要望を鑑み、絞り込んでいった。代表として会見に臨んだ平岩莉央さん(3年)は、記者から企業とのやり取りから学んだことを聞かれ、「試作を繰り返していくスケ



記者会見で商品の紹介をする平岩さん

ジュール、スピード感に驚き、また、社会から見れば学生の取り組みは甘いと痛感しました」と回答。販売促進の方法については、「フェイスブックなどの交流サイトに自分たちでニュースを発信し、広めていきたい」と意欲的に語った。販売期間は10月1日～10月31日。中部地方の量販店、コンビニエンスストア、駅売店など約6,000店舗で販売された。

ランチパックの新商品開発は、山崎製パンの企画「中部地区有名大学キャンパスランチパック」として進められた。テレビのCMや情報番組にも学生たちが登場し、PRした。

千姫に滝澤穂乃香さん
 名古屋まつり 郷土英傑行列
 (総合政策学部1年)



大学の合格をきっかけに、自信のある自分になりたい、と今年3月、千姫候補のモデルオーディションに応募した。たくさんの人に注目されて、緊張感よりもワクワクした。大舞台上で堂々と振る舞えるようになった私自身の変化を実感できた。

《宮川 正裕ゼミ》

「くるみマフィン」「くるみプリン」
 原材料、寄付金で東北復興支援

総合政策学部宮川正裕ゼミは、本年4月から名古屋市八事商店街の(株)菓宗庵との産学連携プロジェクトに取り組み、新しい焼き菓子「くるみマフィン」(150円)と「くるみプリン」(250円)が商品化された。販売期間は来年1月末まで。

同プロジェクトは岩手大学の三陸復興推進機構の支援活動に協力する形で進められた。宮川ゼミは、岩手産のオニグルミを使った新しいお菓子の企画販売や、売上金の一部を寄付金として寄贈するなど、東北復興支援を図った。

材料は、オニグルミと名古屋コーチンの卵を使用し、試作を重ねた。販売は、菓宗庵のほか、被災地の岩手県野田村物産館でも販売され、ネットショップ(楽天・Amazon)も通じて全国向けに拡販されている。包装もデザインした。

名古屋キャンパスの近くで行われた八事の夏祭り(8月14日)では、菓宗庵とゼミ生が協力して限定販売を行い、短時間で好評のうちに完売。地域活性化にもつながったほか、被災地の方からは感謝の言葉が寄せられた。



ゼミ生がPR用に製作したポスター



協定書を交わす石丸館長(左)と長谷川所長

人工知能高等研究所と 相互協力協定

「未来を担う子どもたちに 科学の面白さを」

名古屋市
科学館

小学生向け市民講座 「動く昆虫メカを作ろう」 工学部の教員、学生が熱心に指導

同日、協定に基づき第1回市民向け講座「最高の科学技術を子どもたちに！『動く昆虫メカを作ろう！—大学教授と学ぶものづくり—』」も開かれ、約140通もの応募から当選した20組の親子がモーターで動く昆虫メカ作りに挑戦。森島昭男教授ら工学部5教員と学部生・大学院生10人がわかりやすく工作や科学の面白さを伝えた。

機械情報工学科3年の望月大輝さんは「体験を通じて、将来ものづくりをする勉強に興味を持ってもらいたい」と話していた。



小学生を指導する工学部の教員、学生

本学人工知能高等研究所と名古屋市科学館は、情報科学分野の教育・研究活動を連携して実施するため、9月29日に相互協力協定を締結した。名古屋市科学館で調印式があり、長谷川純一・人工知能高等研究所長が「これまでもソフトサイエンスシリーズや天体・星座アプリの共同開発などを行ってきたが、連携をより強化していきたい。未来を担う子どもたちが大学教員と触れ合う機会になれば」と理解を呼びかけ、石丸典生・名古屋市科学館長も「従来の大人向けの連携に加え、子どもたちが科学の面白さを知ることで、新しい道を開きたい」と話し、固く握手を交わした。

主な連携協力の内容は、公開講座や講演会等の共催、共同研究の実施や資料等の展示への活用、研究成果の広報に関する協力など。また、職員研修や学生教育に関する協力も行い、学生たちが社会貢献や専門的な研究に関わることを後押しする。

地域の活性化に協力 文化会クラブが 豊田市長と意見交換

豊田市



豊田市長(右端)にまちづくりを提案する学生たち

豊田キャンパスで活動する文化会クラブ、よさこいチーム「晴地舞(はちまえ)」が8月5日、豊田市役所を訪れ、市役所の職員に豊田市をテーマにした演舞を披露した。その後、学生の活力を豊田市のまちづくりにつなげたいと考える太田稔彦市長と意見交

換を行った。

本学と豊田市は、地域の活性化に協力していく包括連携協定を今年3月に締結し、相互協力の関係にある。今回の意見交換もその一環で、太田市長が「豊田市に期待すること、まちづくりのアイデア」を聞かせてほしいと投げ掛けると、晴地舞の学生から「次の世代のためにも、教育に十分なお金をかけてほしい」「鉄道が通っていない田舎にも、交通網を整備してほしい」「豊田市は素晴らしい町。全国にその良さを知ってもらうために、文化やイベントを一層PRしてほしい」など、様々な要望が出された。太田市長は「豊田市は可能性のある町。皆さんにもぜひ、まちづくりに協力してほしい」と呼びかけた。

しなやかに挑み続ける新生・中京大学

CHUKYO UNIVERSITY

2013
November



交換留学生として、フィンランド・ヘルシンキ大学へ



英語でミーティングをする学生と教員

グローバル人材を育成

- 学部カリキュラムと全学プログラム
- 留学・海外研修プログラムに625人



名古屋まつり「郷土英傑行列」
千姫役の滝澤穂乃香さん(写真© 総合政策学部1年)

社会との連携活発に

- 名古屋市科学館、豊田市
- 産学連携の商品開発

主要公務員試験に現役153人合格

- 最難関の国家総合職に5人
- 国家一般職34人、国税専門官40人
- 地方上級は63人

11学部の力「経済学部」

情報社会への適応力と国際感覚養う